

■中国：電力分野の温室効果ガス排出量は2027年頭打ちとの予測

2019年7月10日付の現地紙によると、Bloomberg New Energy Finance社が中国における電力分野の温室効果ガス排出量について、2027年頃をピークとし、その後は減少に転じるとの見通しを明らかにした。同社は、中国における電力需要は2050年までに現在と比較して約65%増加するものの、再エネ発電のコストが今後さらに低下するため、石炭火力が2025年以降は新設されないと予想している。